

大富っ子の自慢

地域の宝「とっこ水」「カクレトミヨ」

大富小学校では「ふるさとふれ合い活動」として、「カクレトミヨと環境を学ぶ」に取り組んでいます。学年カリキュラムにカクレトミヨ学習と環境学習を位置づけ、総合的な学習の時間を通して、3年生が中心になってカクレトミヨ及びニジマスの世話を行っています。

6月17日（金）、「カクレトミヨの先生」として、植松與悦先生をお招きし、3年生がカクレトミヨについて勉強しました。あらかじめ自分たちで調べて準備した質問をたくさんしながら、楽しく学ぶことができました。これから勉強したことをまとめ、他校の子どもたちに向けて発表できるよう準備します。



6月に、高崎小学校と東郷小学校の子どもたちが、校外学習（市内めぐり）の見学地として、大富小学校を訪れた際は、4年生が、昨年学習したことをもとに、カクレトミヨの紹介を行いました。



地域の宝「とっこ水」と「カクレトミヨ」は、大富小の子どもたちにとっても宝であり、一番の自慢なのです。

宿泊体験学習

6月22日（水）23日（木）の一泊二日、5年生が朝日少年自然の家で、宿泊体験学習を行いました。子どもたちのめあては

- ①思いやりの気持ちを大切に、みんなと協力し合って友情を深めよう。
- ②教室でできない体験をして、自然にふれ合い、たくさん学ぼう。
- ③自分たちで考えて、すばやく行動し、何事もあきらめないで取り組もう。

です。出発式では、宿泊体験学習を大成功させる三つのキーワードを話しました。

- ①「挑戦」：この2日間でしか体験できないメニューがいろいろあります。中には、難しいとか、できるかなと思うことがあるかもしれませんが、思い切り挑戦してほしいと思います。
- ②「約束」：この2日間でしか体験できないということは、いつもと違うとか、やったことがないことだということです。失敗してもかまいません。失敗はダメなことではありません。失敗も大事な体験です。でも、ふざけたり、気をつけないでやったりするとケガをするようなこともあります。だから、先生からの注意や、やるときの約束事、また、施設を使う時の約束事を守ることが大切です。
- ③「発見」：やったことがないこと、いつもとちがうことをやると、そこには必ず、何か新しい発見があります。いつもは見られなかった友達のよさ。あるいは、自分はできないと思っていたことができるとか、あるいは、いつも一緒にいるお家の人がないので、お家の人のおありがたさを感じるとか、何か必ず発見があります。一つでいいです。発見をしっかり覚えていてください。

子どもたちは、自分たちのめあて、そして、三つのキーワードに向かって、元気に活動し、生き生きと体験することができました。この二日間で、心身ともにたくましく育った5年生です。

